



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye Into All the world”
スローガン	「エクステンション、エクステンション、エクステンション」 “Extension, Extension, Extension”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia One World”
西日本区理事主題	「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
スローガン	「経験がワイズを育みます」
中部部長主題	「長所を活かして生き生きと!」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。 コリントの信徒への手紙 二 4章18節

2014年5月強調月間

LT (leader-training)

LTの機会をすべての会員で共有しましょう。自身の学びをメンバーとの親睦とクラブ活性化につなげましょう。
高瀬 稔彦 理事 (岩国みなみクラブ)

☆☆☆5月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆4月例会報告☆☆☆
日 時：5月8日(木)19:00~21:00	[第一例会] 4月29日(火)10:00~15:00、金沢YMCA主催“たけのこ掘り体験”に参加、北陸学院大学の三小牛キャンパス、参加者：川村君・北君・澤瀬君・澤瀬メット・竹中君・平口君・三谷君
会 場：金沢白鳥路ホテル(金沢市丸の内6-3)	[第二例会] 4月10日(木)19:00~21:00、金沢YMCA集会室、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・三谷君。会議の前に5月第一例会で細川真衣氏の入会式を行うためのプレゼンテーションを、母親の細川伸子氏立会いのもと実施したが、お仕事の都合により、当面、入会は差し控えることになった。
会 費：3000円(夕食代を含む)	京都めいぶるクラブ 30周年記念例会：5月11日(日)、ウエスティンホテル京都。熊本ヤングクラブ 5周年記念例会：5月17日(日)、セカンドサイト/egaotos。
準 備：平口君	今月の聖句について 「信仰に生きる」人の視点から記された4章16節~18節の冒頭は“だからわたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。”とある。(平口)
プログラム	6月の当番 司会：平口君、準備：川村君
司 会：竹中君	
開会・点鐘：澤瀬会長	
ワイズソング：一同	
今月の聖句：司会者	
ゲスト紹介：司会者	
今月のハッピーバースデー：澤瀬会長 平口メット(20日)	
食前の感謝：平口君	
— 会食 —	
卓話 菱田陽子氏(元・北陸学院大学短期大学部教授) 「輝こう熟年!—これからの生き方再発見—」	
事業委員報告：各委員	
ニコニコタイム：川村君	
閉会・点鐘：澤瀬会長	
*例会に使用済み切手をご持参ください。	

当クラブ	4月出席者	4月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	メ ン 6名	100%	前月繰越切手 2,666g	前月累計 77,171円
広義会員 0名	メネット 1名		4月分切手 9g	4月 0円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 0名		切手 2,675g	
			現金 0円	
合計 6名	7名	100%		累計 77,171円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 4月竹の子特別例会参加記 ◆

北 肇夫

金沢 YMCA 主催“たけのこ掘り体験”(兼・金沢犀川クラブ 4月例会)は、4月29日(火・祝)に北陸学院大学の三小牛キャンパスで開催。受付開始時刻には時折の小雨も上がり、タケノ掘りには支障のない日和となった。小学生7名・幼児1名と保護者5名、金沢YMCA7名、金沢クラブ3名、金沢犀川クラブ7名の計30名が参加。参加者には北陸学院大学学長カンガムご夫妻のほか、ボランティアとして来日中の米国人親子二人(母親と19歳の息子さん)もおられた。今年はタケノの表年に当たったため量・質共に上出来でホッとした。タケノ掘り後、小学校のサイエンスルームに移動し、事前に準備したタケノご飯やタケノ・センマイ煮物、漬物、会場で作った味噌汁・タケノ天ぷらなどに舌鼓を打った。食事の準備から片付けまで金沢犀川クラブの澤瀬メネット、金沢YMCAの朝倉理事長夫人、事務局の齋藤さんのお働きが大きかった。食事と歓談のあと、体育館に集合、金沢クラブ幸正会長の指導で小学生とのジャンケン遊びなどがあり、お土産のタケノを携えて無事解散となった。この事業実施に当たり多くの方々からご支援いただいたことに感謝申し上げます。



◆ 四日市クラブへの中部部長公式訪問 ◆

会長 澤瀬 諭

3月20日(木)、四日市クラブへの部長公式訪問に平口中部部長と北中部書記と共に参加。当日、早朝に出発、雨の降るなか日本六古窯一つ信楽の里に立ち寄った。のぼり窯や陶芸館および美術館等を見学し、信楽焼きの素朴な作品を堪能してから四日市のホテルに18:00ごろ無事着いた。小休止の後、近くの例会会場「じばさん三重」に向かった。名古屋・三重方面7クラブ最後の部長訪問であったが、長らくクラブを牽引してきた松岡ワイスが今限りで退会する旨を聞き非常に残念な思いがした。部長の卓話「日本セトロジー(鯨類学)26年の歩みと鯨類研究の意義」を多くのメンバーと拝聴。例会後、有志のワイスと共に、近く会員になられる方のお店に集い懇親を深めた。



◆ 第2回中部評議会報告 ◆

中部部長 平口 哲夫

四日市クラブに中部部長公式訪問をした日の翌3月21日(金・祝)13:30~15:30、名古屋YMCA代官町会館で2013-2014年度第2回中部評議会を開催。金沢犀川クラブからは、平口中部部長、北中部書記、澤瀬会長が参加。議案・協議事項は、2013-2014年度における終了事業の報告、次期役員の確認、次々期役員、事業委員会事業主任に係る中部組織変更、中部EMC200推進委員会(仮称)、アール・ブリュット名古屋展(中部第2回障がい者アート展)、中部YYフォーラム、中部部報第2号発行、西日本区第3回役員会に中部部長提案する協議書、以上9件。このうち特記すべきは「中部EMC200推進委員会」の発足が承認されたことである。その委員構成は中部部長・次期部長・直前部長・中部EMC主査・各クラブEMC委員長(または会長)の9名、委員任期は西日本区、中部及びクラブのEMCに係る各役員任期に連動させて任期1年(継続性を持たせるため、次期部長・直前部長を委員に含める)とし、委員選出は適任者が選ばれるようにクラブが責任を持ち、入会5年目ぐらいの若手を起用できるように心がけることが申し合わされた。



◆ アール・ブリュット名古屋展 ◆

中部メネット主査 澤瀬 紀子

今期メネット事業国内プロジェクトの一つである障がい者アート展としてアール・ブリュット名古屋展(中部第2回障がい者アート展)が4月22~27日の期間「名古屋市民ギャラリー栄」の第8展示室で開催。当クラブも支援をしている福祉施設「ひろびろ作業所」の方々に応募いただいた10作品を展示。期間中高瀬理事と谷本メネット主任が23日(水)午前中に訪問されることに併せて澤瀬会長が平口部長と共に見学しました。また、最終日の4月27日(日)には私も澤瀬会長と共に会場を訪問し、後片付けのお手伝いをしました。ご協力いただいた障がい者施設の関係各位と名古屋クラブの谷川ワイスには一方ならぬご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。



(金沢からの出展品の傍らに立つ平口部長と澤瀬会長)